



▲現在も作った絵手紙で知人と交流を続けている白鳥さん

## 心 南方で福祉コミュニティ事業を開催 のこもった絵手紙展示会

新高石地区福祉コミュニティ主催による絵手紙展示会が6月27日、新高石多目的集会施設で開かれ地区住民の皆さん45人が参加しました。午前中はみなみかた花菖蒲の郷公園で見ごろの花菖蒲を鑑賞し、その後、施設にて地区婦人部や女性部などの皆さんによって、はっと汁などの昼食が振る舞われました。会場には多くの絵手紙が展示されており、中でも目を引いたのは白鳥まつさん(83歳)が3年前から続けている絵手紙の展示で、これまで作成した絵手紙は約200枚以上にもなるそうです。

## 料 迫で勤労青少年クッキングセミナーを開催 理を通じて青少年が交流

迫勤労青少年クッキングセミナーが6月24日から7月8日まで、迫勤労者青少年ホームを会場に全3回の日程で開催されました。このセミナーは地域の食材を活用した料理作りを通して地域を知る機会や勤労青少年の交流を図るもので、迫地区に在住または勤務している青少年17人が参加しました。ハンバーグ、米粉を使ったドリア、シュークリームなどを作り、参加者は「普段は何げなく食べていたが、自分で作ると大変だった」「家でも米粉を使った料理を作りたい」といった感想が聞かれました。



▲参加者は料理を楽しみながら各回ごとに交流を深めました

## 家 津山で青少年のための市民会議を開催 族への感謝の思いを語る

健全な青少年の育成を目的として7月5日、青少年のための登米市民会議津山支部市民集会在津山公民館で開催されました。集会では、橘智大君(津山中3年)が「あたりまえの大切さ」と題した作文を発表。登校の際、毎朝外へ出て「いってらっしゃい」と必ず見送りしてくれるお母さんの姿から家族の大切さを感じた体験を語り、参加した地区住民ら約120人が聞き入っていました。また、新田新一郎さん((有)プランニング開代表取締役)が「元気なひとがまちをつくる」と題し講演を行いました。



▲何気ない日常の生活の中から感じた家族の大切さを述べる橘君



▲身近な地域の歴史展示物を熱心に見学する参加者

## 古 登米でとよま歴史講座を開催 人の営みに触れる

登米図書館が主催する「とよま歴史講座」の移動研修が、7月3日に東和町と岩手県藤沢町方面で開催されました。藤沢町のキリシタン資料館から始まり、東和町の後藤寿庵の石碑、梁川宗元の墓や館跡とたどり、最後にカスリン台風堤防決壊跡を見学しました。参加者は熱心にその様子を写真に収めたりしながら、古人の営みに触れていました。この講座は毎回好評をいただいでいて、終了予定時刻を大きく越えてしまうこともあり、参加者の地域の歴史に対する関心の高さを知ることができました。

## 唄 米山で第29回米山文化協会発表会を開催 と踊りの祭典で観衆を魅了

第29回米山文化協会発表会(同協会主催)が7月6日、米山体育館で開催されました。この発表会は、市民の文化活動への関心が高まりつつある中、市の文化振興をより一層大きなものにするため、米山文化協会加盟団体が一堂に会し行われています。また同発表会は社会福祉チャリティーとしての一面も担っており、開演に先立ち、協会から市社会福祉協議会に寄付金が贈呈されました。当日は、米山文化協会に加盟の12団体による舞踊・よさこい・創作太鼓などが披露され、大勢の観衆を魅了しました。



▲12団体の見事な発表に大きな拍手が送られていました

## 夏 中田で室内楽交響曲演奏会「夏の調べ」を開演 の夜空に響く心地よい音楽

第14回室内楽交響曲演奏会「夏の調べ」が7月12日、石ノ森章太郎ふるさと記念館で開催されました。この演奏会は、東北大学交響曲団OBと木の家合奏団で構成するピアノ、バイオリン、ビオラ、フルートの演奏者を迎えて開催され、ピアノとバイオリンの独奏を中心にフルートやビオラを交えた交響曲が見事に演奏されました。会場には約70人ほどの観客が集まり、曲が奏でられるたび、夏の夜空に響く華やかな音色に聞き入りながら、思い思いに素敵な時間を過ごしていました。



▲ホールには素敵な交響曲の音色が響き渡りました